

全てのこどもが

「安心できる居場所」づくりのために！



岡山支援学校のいじめ問題対策の重点

- 1 児童生徒がいじめの問題について考え、取り組む活動を全学部で行います。
- 2 様々な事情・背景のあるいじめに関する教職員研修を行います。
- 3 早期発見・早期対応に努め、「いじめ問題対策委員会」を中心に解消に向け組織的に取り組みます。
- 4 いじめの情報を適切に記録・保管し、継続的に指導します。
- 5 日頃の授業や行事等の特別活動の中で、仲間づくりや誰もが活躍できる機会を設定することで、自己肯定感や充実感を感じられる学校づくりを進めます。
- 6 ネット上のいじめを防止するために、情報を発信する責任を自覚し、適切に利用できる力を身に付けるための情報モラルに関する授業を行います。

家庭や地域の協力が不可欠です。ご協力を！

子どもの様子にアンテナを！

小さなサインを見逃すことなく心配な事は早めに学校や相談機関に相談しましょう。

子どもと過ごす時間を大切に！

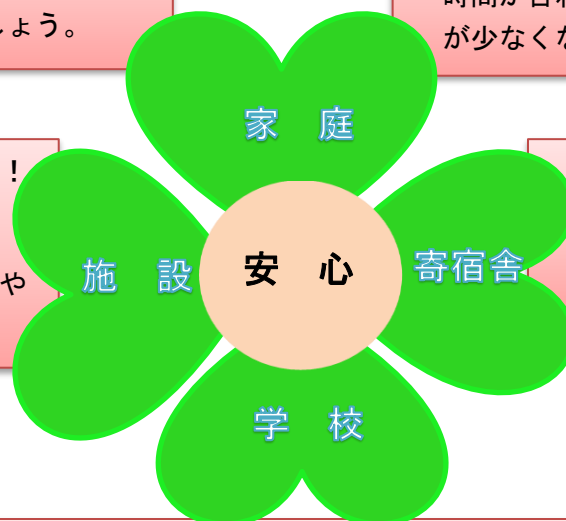
時間が合わないために、一緒に過ごす時間が少なくなっていないですか。

思いやりや生命を大切にする力を！

善悪の判断、友達と仲良くする力など、人間関係の基礎となる力を地域や学校と協力して育てましょう。

大人自身が手本となる！

その場で注意や言葉掛けを行い、正しい判断を示しましょう。



大人同士の関係をつくる！

学校行事やPTA活動、行事に積極的に参加し、保護者同士、大人同士の関係をつくりましょう。



家庭用いじめ発見チェックリスト



いじめには、何より早期発見・早期対応が大切です。

家庭用いじめ発見チェックリストを活用して、子どもの様子をチェックしてみてください。

・ ・ ・ 登校するまでの様子

- ☐ 朝、なかなか起きてこない。
- ☐ いつもと違って、朝食を食べようとしない。
- ☐ 疲れた表情をしている。ぼんやりとしている。
- ☐ 登校時間が近づくと、頭痛や腹痛などを訴えて登校を渋る。

・ ・ ・ 日常における家庭生活の変化

- ☐ 服の汚れや破れ、からだにあざやすり傷がある。
- ☐ 外出したがる。部屋にこもる。
- ☐ 電話に出たがる。おびえる。
- ☐ 成績が下がる。筆圧が弱くなる。
- ☐ 食欲がなくなる。なかなか寝つけない。



・ ・ ・ 持ち物の変化

- ☐ 家で買い与えた物ではないものを持っている。
- ☐ 「なくした」「落とした」と言うことが多い。
- ☐ 持ち物などが壊されている。落書きがある。

・ ・ ・ 交友関係の変化

- ☐ 友達や学校の不平・不満を口にするが多くなる。
- ☐ 口数が少なくなり、学校や友達のことを話さなくなる。
- ☐ 無言の電話や発信者の特定できない電子メールがある。

・ ・ ・ 家族との関係の変化

- ☐ 親と視線を合わせない。
- ☐ 親に反抗したり、兄弟やペットをいじめたり、八つ当たりしたりする。

ネット上のいじめにも注意が必要です！



インターネットが急速に普及したことで、ネット上のサービスを子ども達が利用することが可能になり、いじめにつながる事例も増えています。

～ネット上のいじめの事例～

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）グループからの仲間はずれ

メッセージを読んですぐに返事をしなかったため、グループから外され悪口を書き込まれた。

ネット上のグループから個人を外し、仲間はずれが日常生活にも及ぶこともあります。

なりすまし投稿・チェーンメール

万引きをしているなど、事実無根のメールを送信したり、不特定多数に送信するよう指示したりする。

他人になりすましてネット上で活動し、個人の社会的信用をなくすこともあります。

ブログ・SNS等への嫌がらせや悪口の書き込み

「〇〇さんは気に入らない…」など、実名や個人が特定できる表現を用いて攻撃する。

不特定多数のものから絶え間なく誹謗・中傷が行われ、被害が短期間で広がり、極めて深刻となる危険性があります。

サイトへの画像・動画の投稿

友達からプロレス技をかけられている様子を携帯電話で撮影され、動画共有サイトに投稿された。

流した個人情報は、回収が困難だけでなく、不特定多数の者に流れたり、アクセスされたりする危険性があります。

家庭では、メールを見たときの表情の変化など、トラブルに巻き込まれた子どもが見せる小さな変化に気づいたら、迷わず問いかけ、じっくり子どもの話を聞きましょう。ネット上のいじめの早期発見についても「家庭用いじめ発見チェックリスト」を利用してください。



もし、いじめに気がいたら・・・



我が子が・・・いじめられていたら

子どもをいじめから、全力で守りましょう

- すぐに学校や相談機関と連携し、今後の対応を相談しましょう。
- 事実を丁寧に聞き、辛い気持ちを受け止めましょう。
- 子どもの心と体を守ることを第一に考え、味方であることのメッセージを伝えます。

我が子が・・・いじめていたら

何としてもいじめをやめさせましょう

- 学校に連絡し、今後の対応を相談しましょう。
- いじめられている子どもの辛い気持ちを理解させましょう。
- いじめは絶対に許されないことを伝えましょう。
- 親が真剣に謝る姿をみせましょう。

我が子が・・・はやし立てたり、見て見ぬふりをしていたりしたら

いじめを容認しない強い意志を示しましょう

- 周りではやし立てたり、見て見ぬふりをしたりすることはいじめと同じことを伝えましょう。
- いじめは絶対に許されない行為であることを伝えましょう。
- 今後、どういう行動をとればよいか一緒に考えましょう。

学校以外の相談できる機関

県総合教育センター【月・水・木・金 9時00分から19時00分、火 13時00分から19時00分】	0866-56-9115
ハートフルおかやま110 総合相談窓口 【8時30分から21時30分】	086-224-7110
子ども人権110番（岡山地方方法務局内）【月から金 8時30分から17時15分】	0120-007-110
子どもの家庭電話相談室（中央児童相談所内）【月から土 9時00分から20時00分】	086-235-4157
よりそいホットライン（一般社団法人 社会的包摂サポートセンター）【24時間】	0120-279-338
岡山いのちの電話（社会福祉法人 岡山いのちの電話協会）【24時間】	086-245-4343